

I 令和5年度環境創造局予算案について

1 基本目標

「かけがえのない環境を未来へ」

“豊かな水・緑環境” “安全・安心な生活環境” を次世代へ

2 目標達成に向けた考え方

“豊かな水・緑環境” “安全・安心な生活環境”を次世代につなぐために、令和5年度は、新たに策定した横浜市中期計画や温暖化対策実行計画をはじめ、環境管理計画、みどりアップ計画、都市農業推進プラン、下水道事業中期経営計画など、環境行政の主要な計画を踏まえながら、目標達成に向けた施策を着実に推進します。

推進にあたっては、市民・事業者等の皆様との連携をより一層深めながら、「地球温暖化対策」と「生物多様性の保全」の視点を取り入れつつ、環境創造局が持つ多様な側面を最大限に活かすことで、子育て世代をはじめ、あらゆる市民の皆様の安全・安心な暮らしを守るとともに、花・緑・農・水を生かしたまちの魅力や賑わいを創出し、さらには2027年 国際園芸博覧会に向けた取組を積極的に進めます。

事業の実施にあたっては、デジタル技術の活用等により市民サービスの向上と業務の一層の効率化を図るとともに、横浜市中企業振興基本条例を踏まえ、市内経済を支える公園・下水道等の公共事業を着実に進めます。

3 目標達成に向けた施策

総合環境政策

- ① 環境行政の基盤となる取組
- ② 地球温暖化対策
- ③ 生物多様性の保全に向けた取組
- ④ 多様な主体と連携した環境政策の推進

環境保全

- ⑤ 良好な大気・音・水・土壌環境の確保
- ⑥ 身近な生活環境の保全

みどり

- ⑦ 市民とともに次世代につなぐ森を育む取組
- ⑧ 市民が実感できる緑や花をつくる取組
- ⑨ 「横浜みどりアップ計画」広報
- ⑩ ガーデンシティ横浜の推進

農業

- ⑪ 持続できる都市農業の推進
- ⑫ 市民が身近に農を感じる場をつくる取組

公園

- ⑬ 公園の維持管理・運営、整備
- ⑭ 動物園等の管理運営

下水道

- ⑮ 災害に強いまちづくり
- ⑯ 良好な環境の創出
- ⑰ 市民生活を支える下水道の管理
- ⑱ 脱炭素に向けた下水道の取組
- ⑲ 国際展開・DX・技術開発・プロモーション活動

各事業内容については、5ページ以降の「II 令和5年度環境創造局予算案における主な事業」に記載しています。

4 目標達成に向けた組織運営

「明るく元気な職場づくり」を組織運営の基本として、職員満足度の向上ひいては市民サービスの向上を目指し、自由闊達な議論や円滑なコミュニケーション・情報共有、業務改善の促進を図りながら、環境創造局各所属、土木事務所職員全員が一体となり、効果的かつ効率的に施策を推進していきます。

横浜の「環境」を総合的に推進するチーム力の発揮

- ・環境保全、みどり、農業、公園、下水道の各分野が、知見・技術を総動員し、積極的に連携して、高いチーム力を発揮
- ・市民、企業、教育機関等、様々な主体との協働や共創を推進

人と人、組織と組織、現場と本庁のつながり強化

- ・全体最適を目指して縦割りを排し、職員間、関係部署間の積極的なコミュニケーションや連携により、事業の効果や効率性を向上
- ・現場職場と本庁職場が一体となって、市民生活の安全と安心を直に支える現場業務を着実に推進

横浜の「環境」を支える人材への投資

- ・これまで培ってきた知識や技術を組織として確実に継承、発展
- ・職種や職位を問わず育てあい、学びあう組織風土を醸成
- ・すべての職員がその能力と意欲を最大限に高め、発揮できるような、職場マネジメントを推進
- ・業務の見直しや、テレワーク・フレックスタイム制度等の活用により、ワーク・ライフ・バランスを推進

市民に信頼される適正・適切な業務遂行

- ・時代の変化や複雑化する社会のニーズに応えるため、組織的に業務の点検や改善を行いながら、使命感をもち、適正・適切に業務を遂行
- ・工事安全管理に関する研修を継続的に行い、職員の安全管理の意識向上を推進

5 令和5年度の予算規模

| 区 分 | 令和5年度 | 令和4年度 | 増△減額 | 増減率 |
|---------------|------------------|------------------|----------------|-------|
| 一 般 会 計 | 786 億 6,441 万円 | 802 億 5,407 万円 | △15 億 8,966 万円 | △2.0% |
| 8 款 環 境 創 造 費 | 368 億 9,365 万円 | 355 億 2,629 万円 | 13 億 6,736 万円 | 3.9% |
| 17 款 諸 支 出 金 | 417 億 7,076 万円 | 447 億 2,778 万円 | △29 億 5,702 万円 | △6.6% |
| 風力発電事業費会計 | 9,945 万円 | 9,623 万円 | 322 万円 | 3.4% |
| みどり保全創造事業費会計 | 125 億 7,369 万円 | 126 億 969 万円 | △3,600 万円 | △0.3% |
| 下水道事業会計 | 2,483 億 8,967 万円 | 2,450 億 3,541 万円 | 33 億 5,426 万円 | 1.4% |
| 純 計* | 2,979 億 7,943 万円 | 2,932 億 9,059 万円 | 46 億 8,884 万円 | 1.6% |

※ 一般会計のうち、みどり保全創造事業費会計繰出金及び下水道事業会計繰出金を除きます。

- ・ 項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

6 主なポイント

(1) ガーデンシティ横浜の推進

花と緑あふれるガーデンシティ横浜の推進のための先導的な取組である「ガーデンネックレス横浜」では、都心臨海部で「横浜ローズウィーク」をはじめとしたさまざまなイベントを開催するとともに、郊外部で「里山ガーデンフェスタ」を実施します。

さらに、身近な公園や地域での花壇づくりやオープンガーデンなど、市民・企業等と連携した取組を全市・地域で一層広げ、街の魅力向上・賑わいの創出とともに国際園芸博覧会に向けた機運醸成につなげます。

- ・子どもを対象としたプログラム等により多様な世代が楽しめる取組を推進
- ・公園愛護会による花壇づくりなど、地域での活動のより一層の拡大
- ・地域、商店街や飲食店等との連携をさらに広げ、市内経済活性化に貢献



港の見える丘公園
バラとカスケードの庭



©Photo by MAKI KAWAI
里山ガーデン
横浜の花で彩る大花壇

(2) 脱炭素化に向けた施策の推進

横浜市地球温暖化対策実行計画（市役所編）に基づき、温室効果ガス排出削減対策を推進するなど、2050年までの温室効果ガス実質排出ゼロ（脱炭素化）の実現に向けた施策に取り組みます。

- ・全庁一丸となったエネルギーマネジメント、使用する電力のより一層のグリーン化、下水道事業における温室効果ガス排出削減などを推進
- ・公共施設等への太陽光発電設備等の導入を推進
- ・民間事業者と連携し、次世代自動車の普及を促進



次世代自動車展示会
in みなとみらい

(3) 災害に強い都市づくり

気候変動に伴い、近年頻発する集中豪雨や今後想定される地震などの自然災害に備えるため、災害に強い都市づくりを目指します。

ア 浸水対策

- ・市域全域で、過去に浸水被害を受けた地域において、雨水幹線や雨水調整池などの整備を推進
- ・横浜駅周辺地区で、目標整備水準を引き上げた下水道整備を推進
- ・横浜駅西口の下水道の水位情報のリアルタイムでの発信及び横浜駅東口での情報提供の開始、戸塚駅周辺などへの展開について検討
- ・グリーンインフラを活用し、公園・農業等の様々な主体と連携した雨水の貯留浸透機能向上を図る取組の推進

イ 地震対策

- ・ハマッコトイレの整備や下水道管・流末の水再生センター等の耐震化

ウ がけ地対策

- ・即時避難指示対象区域に含まれる公園内のがけ地等で安全対策を推進



令和3年 道路冠水状況



下水道施設の被害状況
平成28年 熊本地震

(4) 良好な生活環境の確保

市民生活や事業活動の基盤となる良好な生活環境を守るため、環境法令等に基づく大気・水環境の常時監視や調査をはじめ、事業所への立入調査や指導を適正に実施します。

また、環境保全協定の運用など、事業者との対話による環境保全対策を推進するとともに、届出・窓口相談におけるデジタル技術の活用や環境情報の着実な発信を進めます。

(5) 活力ある都市農業の推進

農地が持つ多面的機能の発揮と都市農業の活性化に向け、関連する多様な主体と連携して、持続できる都市農業の推進、市民と農との関わりを深める取組を進めます。

- ・生産基盤の整備や、ICTを活用したスマート農業技術導入等を支援
- ・新規就農者等への農業機械等の導入助成など多様な担い手に対する支援
- ・北部汚泥資源化センター内の農業用ハウスにおいて、スマート農業機器を活用した農産物の栽培管理等を実施
- ・「横浜農場」の積極的なプロモーションによる地産地消等を推進
- ・小学生などが農体験を行う「環境学習農園」や区画貸しの「認定市民菜園」など様々な農園の開設・整備を支援



北八朔恵みの里
体験水田（緑区）

(6) 公園・下水道の保全・更新、活用

市民生活の安全や横浜の経済活動を支える公園・下水道について、公民連携を取り入れながら、計画的な維持管理に取り組みます。

ア 公園 ～地域で長く愛される公園を目指して～

公園に期待される様々な役割を高め、地域で長く愛される公園となるよう、維持管理や整備に取り組みます。

- ・安全かつ快適な公園利用及びストックマネジメントの推進のため、遊具等の施設点検や維持補修、老朽化した公園施設の計画的な再整備と施設改良を実施
- ・大規模な公園でのパークマネジメントプランの策定や Park-PFI を含めた公民連携による公募型事業等を展開



大通り公園での
社会実験のイベント

イ 下水道 ～安全・安心な下水道サービスの継続的な提供を目指して～

市民生活を支える下水道の機能を維持し、安全・安心な下水道サービスを継続的に提供するため、民間事業者のノウハウや創意工夫など活用しながら効率的な維持管理・老朽化対策を進めます。

- ・状態監視を基本とした予防保全型の維持管理・再整備の着実な推進
- ・中大口径管の包括的民間委託や、汚泥資源化センター等における包括的管理委託及び PFI 方式を導入した管理運営を引き続き実施
- ・今後増大する下水道施設の再整備・再構築を着実に推進するため、多様な事業主体との連携や、民間の技術を活かした発注方式等の推進



汚泥資源化センター
改良土プラント

(7) 旧上瀬谷通信施設の跡地利用の推進

令和2年3月に公表した旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画に基づき、公園の整備と、新たな都市農業の展開を目指した取組を着実に進めていきます。

令和5年度は、横浜初の万博となる2027年国際園芸博覧会の開催を見据え、公園整備事業として、会場の基盤ともなる整備に着手するとともに、上瀬谷・上川井地区における新たな農業振興の検討を進めます。

(8) 都市ブランドの向上に向けた動物園の充実

市内3つの動物園において、それぞれの強みをいかしながら、子どもたちや観光客など来園者のターゲットに合わせた施設の充実を図ることで、動物への親しみやふれあいを通じて楽しさや憩い・癒しを感じられる場を創出します。

- ・野毛山動物園のリニューアルプラン策定、ふれあいの場や休憩施設の充実など



レッサーパンダ特別ガイドに
参加する来園者の皆様